



バジル (シソ科メボウキ属)

ハーブという言葉が日本で多く使われるようになったのは、世界各国のレストランが大阪万博（1970年）に出店した頃からです。代表的ハーブのバジルもその頃から普及するようになりました。最もポピュラーなのは光沢のある葉のスイートバジルです。属名や和名のメボウキ（目簾）は、種を目に入れると寒天のような物質が出て目のごみを取り去るからだといわれています。

「イタ飯ブーム」（1990年ころ）の際、葉の緑色がイタリア国旗を象徴していると話題になりました。白色はチーズ、赤色はトマトのマルゲリータピザやカプレーゼサラダなどです。

熱帯アジア原産の多年草のバジルは、日本では越冬できないので一年草として扱われます。発芽適温も生育適温も20℃



25度ですから、種まきは遅霜の心配がない4月中旬以降です。畑がなくても、日当たりの良いプランタで栽培できます。深さ15cm以上のプランターに市販の培養土を入れ、20cm間隔で種を4〜5粒ずつ点まきをします。好光性種子なので覆土はごく薄くし、十分水やりします。本葉2枚の頃に健全な苗を残して1本立てします。追肥は1000倍の液肥を1週間置きに施します。

本葉10枚ぐらいになったら、摘芯して脇芽を伸ばします。摘芯することによって、葉が多く出るようになります。

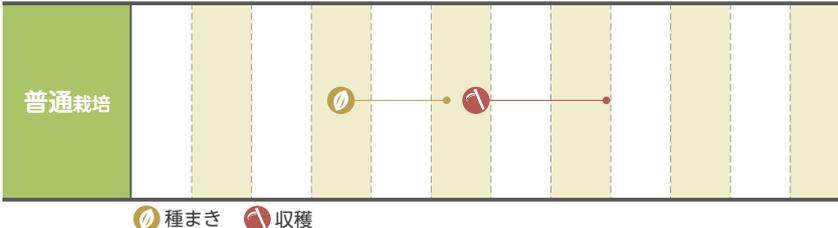
短日植物なので、7月中旬からシソに似た白い花を付けます。花が咲くと株が老化しやすいので、花穂は早めに摘み取ります。

順次葉を摘み取り収穫します。多めに収穫したときは乾燥や冷凍、ペー스트にして保存し、香りを一年中楽しめます。

イタリア語ではバジリコ。ゆでたのスパゲティに生のバジルの葉を刻んであればバジリコスパゲティになります。さらにトマトを加えれば緑・白・赤のイタリアンカラーになります。



栽培計画 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月



JAグリーン津店が教える！
栽培のポイント！



JAグリーン津店 城博一

〈土選び〉

バジルは水はけと水持ちが良い土を好みます。プランターで栽培するならば、あらかじめ元肥が含まれているハーブ用の土や野菜用培養土がおすすめです。

〈コンパニオンプランツ〉

料理でも相性の良いバジルとトマトは栽培でも相性が अच्छいです。一緒に植えると、水を好むバジルが多く水分を吸収して水分調整し、トマトが乾燥気味の土で生育することで実が甘くなります。また、バジルの香りでトマトの香りを打ち消し、害虫が付にくくなる効果も期待できます。



〈挿し木(挿し芽)〉

バジルの茎を切り取り土や水に挿しておくことで発芽し、新しい苗を増やすことができます。簡単にできて収穫量も増えるので、一度試してみたいかがでしょう。

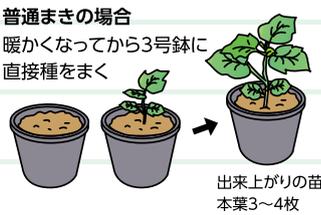


ズッキーニ (ウリ科カボチャ属)

ズッキーニはカボチャの仲間の「ペポ種」の一つで、つるなしカボチャの別名もあります。他に日本種、西洋種があります。近年消費が急速に伸びて知名度も高まり、今やすっかりおなじみの野菜となりました。主にはキュウリほどの大きさで若取りします。ゴルフボール大のかわいい球形果の品種もあり、バリエーションが豊富です。

種まきの適期は3月下旬からですが、種子は早めに準備しておきましょう。

苗作りは普通のカボチャに準じて、3号のポリ鉢に2粒まきし、本葉出始めの頃間引いて1本立てとし、本葉3〜4枚になった頃に畑に植え出します。元肥に堆肥、なたね油かす、化成肥料を施し、畝間130〜150cm、株間70cmぐらいに植え付けます。



雌花は短縮した茎に多く付き、開花後の肥大は早いのが特徴です。長形種は20cmぐ



らいになったら遅れずに収穫しましょう。通常開花後3〜6日ぐらいで収穫しましょう。

多湿を嫌うので、畑の排水を良くするため、図のように短い支柱を、つるを挟むように交差させて立て、固定しましょう。

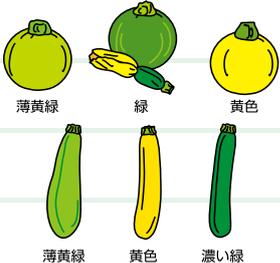
第2回追肥
収穫始めの頃、フィルムの裾をめくり上げて追肥する。
化成肥料 1株当たり大さじ2杯



風が強い場所ではつるが振り回されないように短い支柱を交差させて立て固定する

主な品種としては、長形緑色果の「ダイナー」(タキイ種苗)、「グリーントスカ」(サカタのタネ)、黄色果の「オーラム」(タキイ種苗)、「ゴールドトスカ」(サカタのタネ)、卵形果の「グリーン・エッグ」「ゴールド・エッグ」(神田育種農場)などがあります。

炒め物、揚げ物、煮物など、さまざまに調理に向くズッキーニ。収穫遅れで大果になり過ぎた場合は、バーベキューにするとおいしくいただけます。

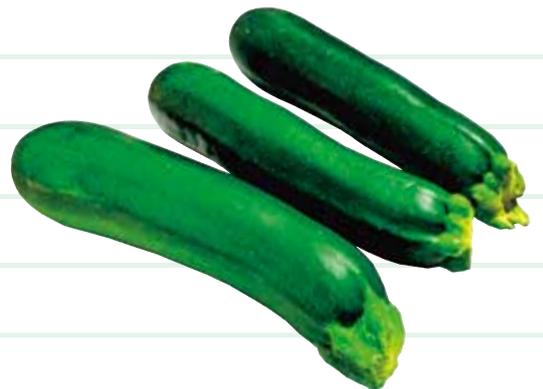


※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

栽培計画	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
ホットキャップ栽培			○	△	△		①					
ホットキャップ栽培 (じかまき)				○	△		①					
露地早熟栽培				○	△		①					

○ 種まき △ 植えつけ △=△ ホットキャップ栽培 ① 収穫

(高冷地や寒冷地では各作型とも20〜30日遅れとする)



農業PR隊長カツラギ通信は ホームページで配信中!!

農業PR隊長カツラギ通信

検索

みてね!

カツラギ PHOTO GALLERY